

工事完成

国道140号（新山梨環状道路東部区間I期）標識工事（一部債務）

工期：令和2年3月～令和3年3月

施工者：サンコーライン 株式会社

工事概要： 大型標識 N=3枚 標識柱（門型式） N=1基

国道140号（新山梨環状道路東部区間I期）標識工事（明許）

工期：令和2年3月～令和3年3月

施工者：株式会社 道路企画

工事概要： 大型標識 N=4枚 標識柱（片持式） N=2基

道路標識は道路の利用者に必要な情報をお知らせするための表示板指示や案内による、なめらかな交通を目的に設置されます。

- ・遠距離からの標識の存在と種類を確認できること
- ・短時間で標識の内容が分かること
- ・夜間でも内容が分かること

といった決まりがあります。

一日本の道路標識一

日本における道路標識は

本標識（案内標識、警戒標識、規制標識、指示標識）と**本標識に付属する役割を持つ補助標識**に分けられます。

日本は他国と比べて道路標識が数多く至る所に設置されています。その理由は、道路網が複雑であり、その中で安全となめらかな交通を守るには、きめ細やかな交通規制が必要なのです。



施工前

門型式



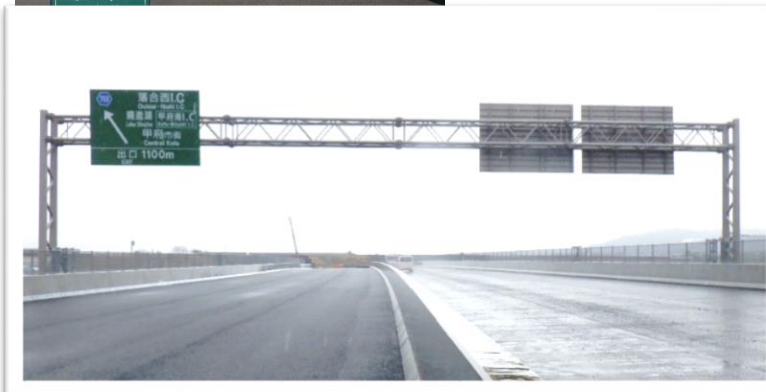
施工前

片持式



施工前

添架式



完 成



施工前と比較すると、何もないうちでも標識が立っただけにより、「より『道路っぽさ』が出てきたように感じます。



交通に対する案内など内容を表現するための板を

「標識板」

その板を固定するための支柱を

「標識柱」

と呼び、この標識柱の形によって、様々な方式に分けられます。



今回は

- ・片持式（オーバーハング式）
- ・門型式（オーバーヘッド式）
- ・添架式

という三種類の方式の標識の取付工事を行いました。



まずは工場での溶接、塗装などを行い、この標識柱や杭を造って完成したものを現場まで運びます。

門型式

橋にある土台部分に柱を付ける準備をします。



広い道路をまたぐように標識柱を造ります。

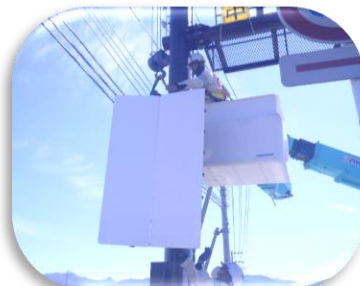
片持式

地面に杭を打ち、その杭に固定する形で柱を立てて、標識板を取り付けます。



添架式

既にある柱に標識板を取り付けます。まだ環状道路が工事のため、標識板はカバーが付けられ真っ白になっています。



道路が使用できるようになった時に初めてカバーが外され、標識の役割が果たせるようになります。